

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 特 許 公 報 (B2)

(11) 特許番号

特許第6195575号
(P6195575)

(45) 発行日 平成29年9月13日 (2017.9.13)

(24) 登録日 平成29年8月25日 (2017.8.25)

(51) Int. Cl.

F I

G 0 9 F 3 / 1 0 (2006.01)

G 0 9 F 3 / 1 0 H

G 0 9 F 3 / 0 2 (2006.01)

G 0 9 F 3 / 0 2 M

請求項の数 5 (全 10 頁)

(21) 出願番号 特願2014-548895 (P2014-548895)
 (86) (22) 出願日 平成24年12月20日 (2012.12.20)
 (65) 公表番号 特表2015-505072 (P2015-505072A)
 (43) 公表日 平成27年2月16日 (2015.2.16)
 (86) 国際出願番号 PCT/US2012/070948
 (87) 国際公開番号 W02013/096622
 (87) 国際公開日 平成25年6月27日 (2013.6.27)
 審査請求日 平成27年12月15日 (2015.12.15)
 (31) 優先権主張番号 61/578,702
 (32) 優先日 平成23年12月21日 (2011.12.21)
 (33) 優先権主張国 米国 (US)

(73) 特許権者 505005049
 スリーエム イノベイティブ プロパティ
 ズ カンパニー
 アメリカ合衆国, ミネソタ州 55133
 -3427, セント ポール, ポスト オ
 フィス ボックス 33427, スリーエ
 ム センター
 (74) 代理人 100088155
 弁理士 長谷川 芳樹
 (74) 代理人 100107456
 弁理士 池田 成人
 (74) 代理人 100128381
 弁理士 清水 義憲
 (74) 代理人 100162352
 弁理士 酒巻 順一郎

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 ラベルアセンブリ及び使用方法

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

表主面及び裏主面を有するキャリアシートと、

前記キャリアシートの前記表主面に解放可能に接着された複数のラベルと、を備え、

前記キャリアシートは、少なくとも1つの囲い形式の分離線を有し、

前記分離線は第1キャリア部分及び各ラベルに対応する第2キャリア部分を画定し、

前記第2キャリア部分は前記ラベルの領域よりも小さい領域を有し、

第2キャリア部分は、前記ラベルの外周を越えて延びる少なくとも1つのタブを備え

、
 前記ラベル及び前記第2キャリア部分は、前記第2キャリア部分の少なくとも一部が
 解放可能に前記ラベルに接着されたままで、前記第1キャリア部分から分離するように構
 成され、

前記複数のラベルは、互いに隣り合うように配置されており、

前記複数のラベルのうちの一つのラベルは、隣り合うラベルに対応する前記少なくと
 も1つのタブを覆っている、ラベルアセンブリ。

【請求項 2】

前記分離線は実質的に前記ラベルの下にある、請求項 1 に記載のラベルアセンブリ。

【請求項 3】

前記キャリアシートの前記表主面に解放可能に接着され複数のラベルを包囲するマトリ
 ックスを更に備える、請求項 1 に記載のラベルアセンブリ。

10

20

【請求項 4】

前記キャリアシートの前記表主面に解放可能に接着され前記ラベルの隣に位置するストリップを更に備える、請求項 1 に記載のラベルアセンブリ。

【請求項 5】

前記キャリアシートの前記表主面に解放可能に接着され前記マトリックスと前記ラベルとの間に位置するストリップを更に備える、請求項 3 に記載のラベルアセンブリ。

【発明の詳細な説明】**【技術分野】****【0001】**

本発明は、ラベルアセンブリに関する。より詳細には、本発明は、ラベルが耐カール性を有するラベルアセンブリの設計に関する。

10

【背景技術】**【0002】**

粘着ラベルは、様々な整理目的及び連絡目的で広く使用されている。一般的に、粘着ラベルは、裏面に接着剤の付いた本体又は支持体（ラベルストックと称することもある）を備える基本構造を有し、仮ライナー又はキャリアシートの上に配置されて提供される。本体は、単層であっても、又は多層構造であってもよい。表側面は、通常、例えば、タイプ、手書き、コンピュータプリンタによる印刷等によって説明表示を受容するように構成されている。例えば、所望の説明表示又は情報をより配置しやすくするために、画像受容層を本体の表側面に備えてもよい。ラベル本体に使用される材料の実例には、紙、高分子フ

20

【0003】

現在市販されている多くのラベルアセンブリ（「ラベルシート」と称することもある）は、個々のラベルをキャリアシート若しくはライナーから剥がすか、又は各ラベルをそのライナーに接着させたままラベルアセンブリをより小さなラベルアセンブリに個別化するか、のいずれかにより、ラベルアセンブリから取り外し可能なダイカットラベルを備える。これらの個々のラベルは、切取線で分離可能なラベルアセンブリ上に提供されるか、又は既に個別化されているかのいずれかである。

30

【0004】

通常の使用では、例えば、プリンタ、タイプライター、手書き等により 1 つ以上のラベル上に説明表示を形成した後、ラベルをキャリアシート又はライナーから取り外し、支持体に貼合しなければならない。ラベルをキャリアシート又はライナーから取り外す際、ラベルはカールしやすい。場合によっては、ラベルは、そのラベル自体に接着するようにカールすることさえある。部分的にカールしたラベルの貼合であっても、若干難しく、時間がかかる場合もあり、手先の器用さがかなり要求される。

【発明の概要】**【発明が解決しようとする課題】****【0005】**

既知のラベル構造には多くの種類があるにもかかわらず、ラベル構造の改善を求める要望がある。

40

【課題を解決するための手段】**【0006】**

本発明は、ラベルアセンブリと、素早く簡単にラベルを作製し、廃棄部分を限定して利便性を高めたアセンブリの使用方法和、を提供する。本発明のラベルアセンブリの構成は、様々な印刷装置で良好なプリンタ給紙性能を可能にし、製品情報用に印刷可能な余白を保持する。

【0007】

要約すると、本発明のラベルアセンブリは、表主面及び裏主面を有するキャリアシート

50

と、キャリアシートの表主面上に解放可能に接着された複数個のラベルと、を含む。各ラベルは、その裏側に接着剤の付いた１枚のラベルストックを備える。本発明によって、

キャリアシートは、少なくとも１つの囲い形式の分離線を有し、

分離線は第１キャリア部分及び第２キャリア部分を画定し、

第２キャリア部分はラベルの領域よりも小さい領域を有し、

第２キャリア部分は、ラベルの外周を越えて延びる少なくとも１つのタブを備え、

各ラベル及び対応する第２キャリア部分は、第２キャリア部分の少なくとも一部が解放可能にラベルに接着されたままで第１キャリア部分から分離するように構成されている。

【０００８】

要約すると、本発明の方法は、表主面からマトリックスを取り外す工程と、タブを引き上げることによってラベル及び対応する第２キャリア部分を第１キャリア部分から分離する工程と、第２キャリア部分のタブ及び第２キャリア部分をラベルから引き離す工程と、を含む。

【０００９】

本発明の他の態様によると、本発明の方法は、表主面からストリップを取り外す工程と、タブを引き上げることによってラベル及び第２キャリア部分を第１キャリア部分から取り外す（removing）工程と、第２キャリア部分のタブ及び第２キャリア部分をラベルから引き離す工程と、を含む。

【００１０】

通常、手書き、プリンタ（例えば、パーソナルコンピュータと共に一般に使用されるようなレーザープリンタ又はインクジェットプリンタ）により、本発明のラベルアセンブリの表側面に画像を印刷することができる。

【００１１】

本発明の利点は、ラベルをカールさせずにラベルアセンブリから取り外して支持体に容易に貼り付けることができることである。

【図面の簡単な説明】

【００１２】

図面を参照して本発明をより適切に説明することができる。

【図１】従来のラベルアセンブリの表（すなわち、ラベル）側平面図である。

【図２】図１に示す従来のラベルアセンブリの、図１の１－１線断面図である。

【図３】本発明のラベルアセンブリの一実施形態の表（すなわち、ラベル）側平面図である。

【図３a】図３に示すラベルアセンブリの裏側平面図である。

【図４】図３に示すラベルアセンブリの、図３の４－４線断面図である。

【図５】本発明のラベルアセンブリの一実施形態の表側平面図である。

【図５a】図５に示すラベルアセンブリの裏側平面図である。

【図６】図５に示すラベルアセンブリの、図５の５－５線断面図である。

【図７】本発明のラベルアセンブリの一実施形態の表側平面図である。

【図８】図７に示すラベルアセンブリの、図７の７－７線断面図である。

【図９】本発明のラベルアセンブリの一実施形態の表側平面図である。

【図１０】図９に示すラベルアセンブリの、図９の９－９線断面図である。

【図１１】本発明のラベルアセンブリの一実施形態の表側平面図である。

【図１２】図１１に示すラベルアセンブリの、図１１の１１－１１線断面図である。

【図１３】本発明のラベルアセンブリの一実施形態の表側平面図である。

【図１４】本発明のラベルアセンブリの一実施形態の表側平面図である。

【００１３】

図面は説明の目的で本発明を示しており限定するものではない。本発明の原理の範囲及び趣旨に含まれる多数の他の修正及び実施形態が、当業者によって考案され得る。図は理想化されており、一定の縮尺で描かれておらず、単に説明の目的だけを意図する。

【発明を実施するための形態】

【 0 0 1 4 】

例示的な従来型のラベルアセンブリを図 1 及び図 2 に示す。本発明の例示的实施形態を他の図において示す。類似の構成要素及び特徴を指すために記載全体を通じて同様の参照符号を使用する。

【 0 0 1 5 】

ラベルアセンブリ 1 0 は、複数のラベル 2 0、キャリアシート 3 0、及びラベル 2 0 とキャリアシート 3 0 との間の接着剤 2 4 を含む。複数のラベル 2 0 のそれぞれは、ラベル分離線 2 8 により隣接するラベル及び周囲のマトリックスから分離される。接着剤 2 4 及び分離線 2 8 により、ユーザはキャリアシート 3 0 からラベル 2 0 を取り外すことができる。

10

【 0 0 1 6 】

ラベルアセンブリ 1 0 の表側、断面図、及び裏側を示す図 3、3 a、4、5、5 a、及び 6 において、本発明の例示的なラベルアセンブリを示す。ラベルアセンブリ 1 0 は、複数のラベル 2 0、キャリアシート 3 0、及び複数のラベル 2 0 とキャリアシート 3 0 との間のラベルストックの裏側における接着剤 2 4 と、を備える。

【 0 0 1 7 】

キャリアシート 3 0 は、表主面 3 0 a 及び裏主面 3 0 b を有する。

【 0 0 1 8 】

ラベル 2 0 のそれぞれは、ラベル分離線 2 8 により、ラベルアセンブリの他の構成要素（すなわち、隣接するラベル、周囲のマトリックス等）によって画定され、他の構成要素から分離されている。ラベルアセンブリ 1 0 は、個々のラベル 2 0 の間のマトリックスなしで示しているが、ラベルアセンブリ 1 0 は、接り合うラベル間のマトリックスを含んでもよい。また、各ラベルアセンブリ 1 0 は、複数のラベル 2 0 を完全に包囲するマトリックス 2 6 と共に示しているが、本発明において、ラベルアセンブリ 1 0 はラベル 2 0 を完全に包囲するマトリックス 2 6 を含む必要はない。キャリアシート 3 0 は、第 1 キャリア部分 3 2 及び第 2 キャリア部分 3 4 を画定するキャリアシート分離線 3 8 を含む。分離線 3 8 は、ラベル 2 0 を越えて延びる第 2 キャリア部分 3 4 のタブ 3 6 も画定する。接着剤 2 4、分離線 2 8、及び分離線 3 8 により、ユーザは、第 1 キャリア部分 3 2 からラベル 2 0 及び第 2 キャリア部分 3 4 を取り外すことができる。よって、第 2 キャリア部分 3 4 は、ラベルから容易に剥離され、支持体に貼合される準備ができる。

20

30

【 0 0 1 9 】

図 3、5、7、9、及び 1 1 は正面図である。図中、キャリア分離線 3 8 は、ラベル 2 0 との関係を示すため点線で示しているが、各断面図に示す通り、キャリア分離線はラベル全体には伸びていない。同様に、図 3 a 及び 5 a は背面図であり、ラベル分離線 2 8 は、第 2 キャリア部分 3 4 との関係を示すために、点線で示されている。

【 0 0 2 0 】

図 7 及び 8 並びに 9 及び 1 0 において、それぞれ示す通り、一部の他の実施形態において、ラベルアセンブリ 1 0 は、キャリアシート 3 0 の表主面 3 0 a に解放可能に接着され、マトリックス 2 6 とラベル 2 0 との間に位置するストリップ 4 2 を含む。

【 0 0 2 1 】

各ラベルアセンブリは、通常、複数のラベルを備えてもよい。例えば、図 3、5、7、及び 9 に示す通り、各ラベルアセンブリは、1 縦列に、所定の構成で配置された 1 1 枚のラベルを備える。

40

【 0 0 2 2 】

図 1 1 に示す通り、他の例示的实施形態において、ラベルアセンブリは、5 横列が 2 縦列ある所定の構成で配置された 1 0 枚のラベルを備える。

【 0 0 2 3 】

図 1 1 は、本発明の例示的实施形態によるラベルアセンブリ 1 0 を示す。ラベルアセンブリ 1 0 は、複数のラベル 2 0 の第 1 縦列及び複数のラベル 2 0 の第 2 縦列を含む。第 1 ラベル縦列及び第 2 ラベル縦列のそれぞれは、ラベルアセンブリ 1 0 の長手方向に配置さ

50

れるか、又はスタックされる。各ラベル 20 は、実質的にラベルの下にある分離線 38 に包囲された第 2 キャリア部分 34 を含む。分離線 38 は、ラベル 20 を越えて延びる第 2 キャリア部分 34 のタブ 36 も画定する。

【0024】

使用の際、本発明のラベルアセンブリは以下のように用いられる。

【0025】

最初に、例えば、アセンブリをコンピュータプリンタに通過させること、手書き、又はデカールの接着等により、所望により 1 つ以上のラベル上に表示物を形成することができる。

【0026】

次に、マトリックス 26 を分離線 28 に沿って表主面 30 a から取り外す。第 2 キャリア部分 34 のタブ 36 が露出する。タブ 36 を引き上げることにより、ラベル 20 及び第 2 キャリア部分 34 は第 1 キャリア部分 32 から容易に取り外される。タブ 36 をラベル 20 から引き離すことにより、第 2 キャリア部分 34 をラベル 20 から取り外す。よって、ラベル 20 を支持体に容易に貼合する準備ができる。

【0027】

あるいは、ストリップ 42 を、分離線 28 に沿って表主面 30 a から取り外す。第 1 ラベル 20 の第 2 キャリア部分 34 のタブ 36 が露出する。タブ 36 を引き上げることにより、第 1 ラベル 20 及び第 2 キャリア部分 34 は第 1 キャリア部分 32 から容易に取り外される。第 2 ラベル 20 の第 2 キャリア部分 34 のタブ 36 が露出する。タブ 36 をラベル 20 から引き離すことにより、第 2 キャリア部分 34 を第 1 ラベル 20 から取り外す。よって、ラベル 20 を支持体に容易に貼合する準備ができる。

【0028】

本発明により、他のラベルサイズ、及びラベルのレイアウトが使用可能であり、使用のために容易に適應される。ラベルの形状及びサイズは様々あってよく、全てが同じ形状又はサイズである必要はない。図 13 及び 14 は、それらのラベルが円形である可能性を示す。ラベルは、ラベル間のマトリックス又は露出したライナーにより、互いに完全に分離されていてよい。

【0029】

ラベルは印刷可能な面を有する。「印刷可能な面」という文言の意味は、人又は機械が描く、印刷する、着色する、塗る、コピーする、書く、エンボス加工する、又はその他の種類のマーク若しくは図形を付けることができる、あらゆる種類の物の面という意味である。本発明による印刷可能な面と共に使用するには、レーザープリンタ、インクジェットプリンタ、インパクトプリンタ、熱転写プリンタ、ダイレクトサーマルプリンタ、タイプライター、コピー機、又はその他の好適なグラフィック印刷装置が好ましいが、必ずしも必要ではない。

【0030】

ラベルストックは、ラベルとして使用可能な任意の好適な紙、紙の複合物、フィルム、プラスチック、布地、非金属及び / 又は金属シート材料で構成されることが好ましいが、必須ではない。好適な材料の選択は、所望の色、水分安定性、柔軟性、伸び、弾性、撮像材料に対する感応性等の要素を含む所望の用途に一部依存するであろう。

【0031】

当業者は、所望の用途に適したラベルストック材料を容易に選択できるであろう。

【0032】

一般に既知の形状として、8.5 × 5.5 インチ (216 × 140 mm) の標準紙サイズ、米国標準レターサイズ (すなわち、寸法が 8.5 × 11 インチ又は 216 × 279 mm)、法定サイズ (8.5 × 14 インチ (216 × 356 mm))、A4 (すなわち、寸法が 210 × 297 mm)、及び葉書サイズ (すなわち、寸法が 4 × 6 インチ又は 100 × 148.5 mm) のシートが挙げられる。ラベルアセンブリは、任意の好適な形状であり、一般的に、レーザープリンタ又はインクジェットプリンタ等のプリンタが受け入

10

20

30

40

50

れ可能及び給紙可能な任意の好適な寸法である。

【 0 0 3 3 】

接着剤により、ラベルを接着させることができる。多くの実施形態において、接着剤は感圧性であろう。所望により、必要とされるラベルの貼合性能に応じて、例えば、熱又は開始剤の反応により活性化される接着剤を使用してもよい。所望の通り、位置調節可能、取り外し可能な永久結合接着剤を使用してもよい。光透過性接着剤を使用する場合、ラベルを貼合する支持体の色は、ラベルを通して特定の効果をもたらすと考えられ、例えば、ラベルを名札として使用する場合、異なる色の衣服を着ている人に付けたラベルは固有の外観を有するであろう。所望により、顔料及び染料等の1つ以上の着色剤を接着層に組み込み、得られるラベルに所望の外観を付与することができる。

10

【 0 0 3 4 】

当業者は、選択したラベリング用途に好適な接着剤を容易に選択することができる。

【 0 0 3 5 】

当業者は、好適な解放ライナーも容易に選択することができる。選択は、接着剤の特性、ラベルの保管、使用、及び貼合条件等の要素に一部依存するであろう。

【 0 0 3 6 】

本発明によれば、それぞれの分離線は、例えば、少なくとも1つのダイカット線、キスカット線（層又はシート全体に完全に伸びていないダイカット線）、レーザーダイカット線、スコアカット線、穿孔線、微小穿孔線、化学エッチング線、液体エッチング線、及び/又は気体エッチング線を含む。

20

【 0 0 3 7 】

他の形状を有するキャリアシートを本発明に従って使用してもよいが、通常、キャリアシートの形状は矩形である。

【 0 0 3 8 】

本発明は、ラベルを手で個別に取り外す用途に極めて好適である。しかし、本発明は手で使うことに限定していない。本発明は、複数のラベル20及び第2キャリア部分34を第1キャリア部分32から分離した後、第2キャリア部分34を複数のラベル20から取り外し、複数のラベル20を支持体に配置する自動機械により使用可能である。本発明は、複数のラベルが1つ以上の支持物体の上に配置され、そこにグループとしてこれらのラベルがラベルアセンブリ10の上で見られる同じ相対位置で貼合される用途で使用するこ

30

【 0 0 3 9 】

例示する目的で述べられた上記実施形態の詳細は本発明の範囲を限定すると解釈すべきではないことが理解されよう。以上、本発明のごくわずかな例示的实施形態を詳細に説明してきたが、本発明の新たな教示及び利点から実質的に逸脱することなく様々な修正を行い得ることが当業者には容易に理解されよう。したがって、このような修正全ては、本発明の範囲内に含めることを意図している。更に、多くの実施形態は、一部実施形態、特に好ましい実施形態の全ての利点を達成しないが、特定の利点が存在しないことは、このような実施形態が本発明の範囲外であることを必然的に意味すると解釈すべきではない、と

40

【図 1】

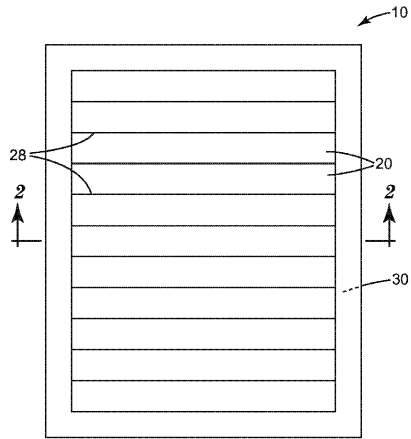


Fig. 1
PRIOR ART

【図 3】

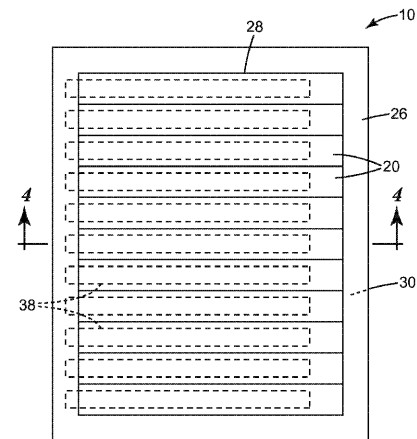


Fig. 3

【図 2】

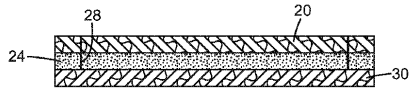


Fig. 2
PRIOR ART

【図 3 a】

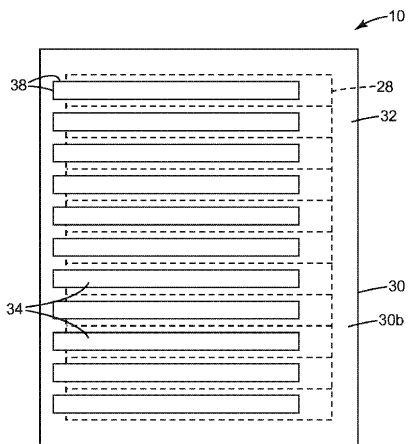


Fig. 3a

【図 5】

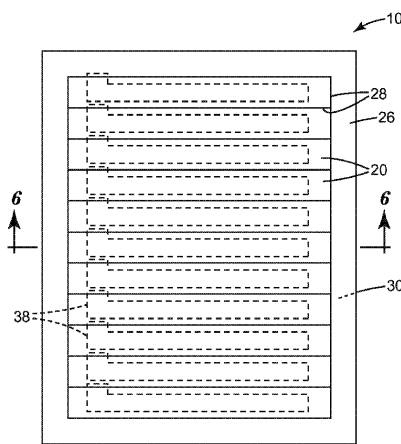


Fig. 5

【図 4】

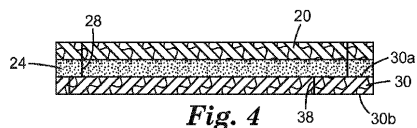


Fig. 4

【図 5 a】

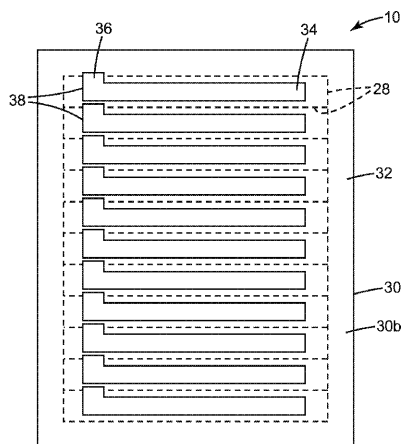


Fig. 5a

【図 7】

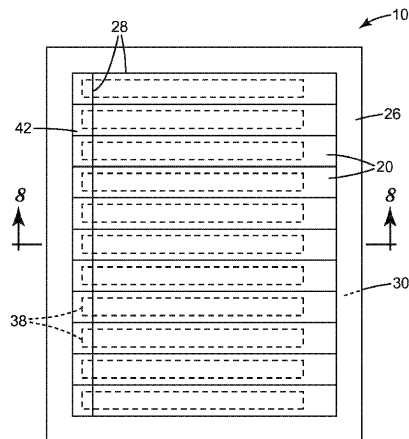


Fig. 7

【図 6】

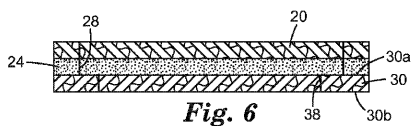


Fig. 6

【図 8】

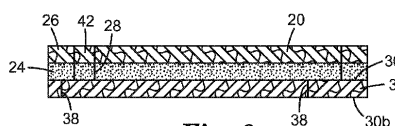


Fig. 8

【図 9】

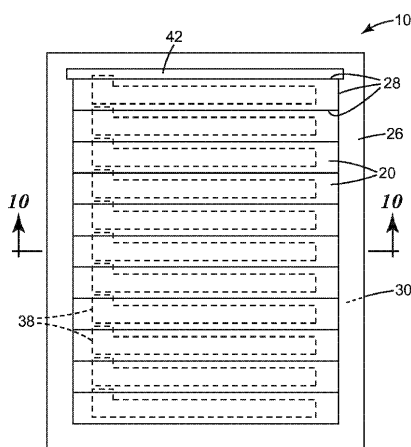


Fig. 9

【図 11】

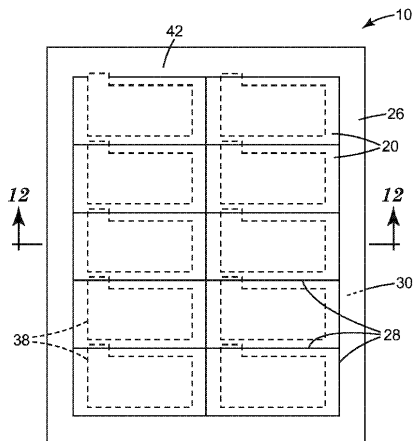


Fig. 11

【図 10】

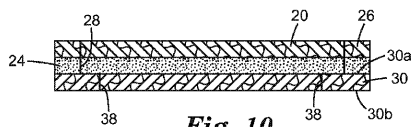


Fig. 10

【図 12】

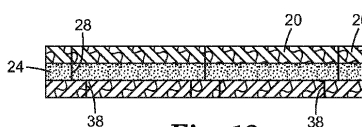
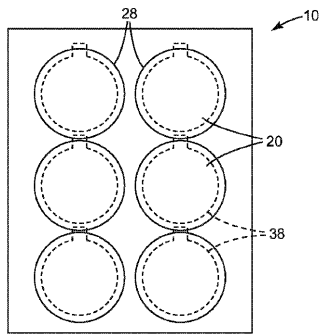
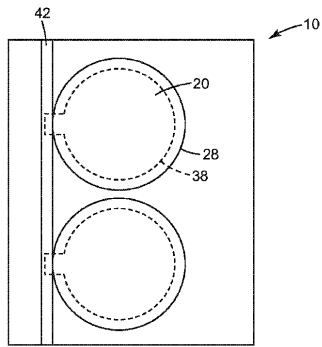


Fig. 12

【図 13】

*Fig. 13*

【図 14】

*Fig. 14*

フロントページの続き

- (72)発明者 山田 健史
東京都世田谷区玉川台2丁目33 1
(72)発明者 刀 通子
東京都世田谷区玉川台2丁目33 1

審査官 青山 玲理

- (56)参考文献 実開平04-077182(JP,U)
実公平05-011575(JP,Y2)
特開平03-165769(JP,A)
特開昭48-094740(JP,A)
米国特許第04055249(US,A)
独国特許出願公開第102009040112(DE,A1)
欧州特許出願公開第00418608(EP,A1)
米国特許第05242381(US,A)
欧州特許出願公開第00284703(EP,A1)

- (58)調査した分野(Int.Cl., DB名)
G09F 1/00 - 5/04